

## 歯周病病原菌 歯科の吸血鬼 P g 菌の話

歯周病菌の種類は以前は300種類と言われていましたが、今では、800種類を超えると言われています。

その中で、

**極悪御三家**として

**Treponema denticola** トレポネーマ・デンティコーラ

**Porphyromonas gingivalis** ポルフィロモナス・ジンジバリス

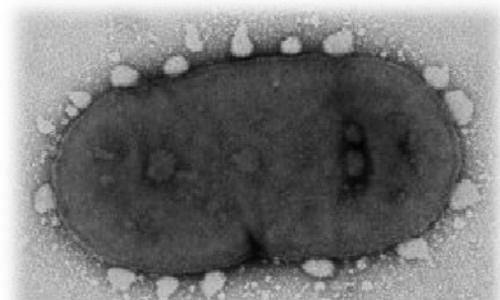
**Tannerella forsythia** タネレラ・フォーサイシア

があります。

この中の親分は、**ポルフィロモナス・ジンジバリス (P g 菌)**です。

この菌は吸血鬼のように血液をエサにしています。

そして吸血鬼は、日光が苦手なように酸素が苦手です。



ポルフィロモナス・ジンジバリス (P g 菌)

虫歯の原因菌のミュータンス菌は、母子感染であることがわかっています。P g 菌は、どこから感染するのかまだわかっていません。ただ、思春期以降の唾液感染であろうと推測されています。また、最近、検査の精度が上がり、ごく微量の P g 菌でも検出できるようになりました。歯周病でない口腔からも P g 菌が検出されるようになり、もしかしたら常在細菌かもしれないという説もあります???

この菌に感染したとしても、この菌は、細々と弱々しく生きています。体に害を与えることもあまりありません。

ところが、お口の中が不潔になりミュータンス菌が歯に付着し始めると細菌は住みやすい環境を作るため細菌同盟を結び歯に強固に付着してきます。ある量に達すると、歯に接している歯肉に炎症が起こり歯肉の内面に潰瘍が形成され、血が出るようになると状況は一変します。密かに細菌同盟に参加していた少数派の P g 菌は血液を得ると、数百倍から数万倍まで数が増えます。

そして、骨を破壊し歯周ポケットという歯と歯肉の間の溝をどんどん深く

していきます。その溝が4 mm以上になると溝の奥は、酸素が減ってきます。P g 菌は酸素が苦手なのでますます元気になり増殖します。

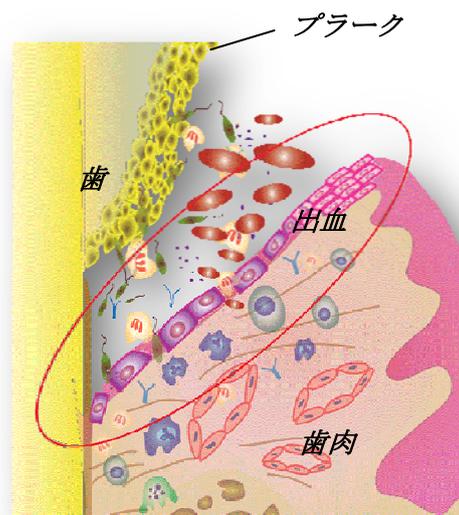
一方で、体の側も黙っていません、あらゆる手段を使って P g 菌を攻撃し排除します。しかしその結果、自ら骨を溶かしてしまうことになります。これが、歯周病です。

歯周病を予防するためには、P g 菌に血液というエサを与えず、酸素のない住家を与えないようにしなければなりません。

まずは、P g 菌の住家を知るために歯周病検査を受ける必要があります。

歯肉のどの部位から出血があるか、4 mm以上の歯周ポケットがどこにあるかを調べます。そして歯ブラシと専門的クリーニングにより出血と4 mm以上の歯周ポケットをなくします。これにより P g 菌はおとなしくなります。しかし居なくなる訳ではなく、息をひそめて暴れだす機会を待っています。

その機会を与えないためにも**定期検診が必要不可欠**です。



P g 菌が歯肉を破壊し破骨細胞を刺激します

